令和７年度 栄村教育委員会
活動の点検・評価報告書

令和８年９月

栄村教育委員会

栄村教育委員会活動の点検及び評価について

平成19年6月に学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、教育職員免許法及び教育公務員特例法の教育三法が改正され、改正教育基本法の新しい教育理念を踏まえた地方教育行政が行われることとなりました。

さらに、平成26年12月には地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、教育委員長と教育長の一体化など教育委員会の責任体制の明確化が図られることになりました。

これらの改正で、教育委員会が効率的な教育行政を推進し、説明責任を果たしていくために、教育委員会は自らの権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

以上のことから、栄村教育委員会は、令和7年度の主要な施策や事務事業の取り組みについて点検及び評価を行い、報告書として作成しましたので、提出します。

令和8年9月2日
栄村教育委員会

令和７年度教育委員会活動の自己点検・評価に関する報告

点検・評価項目

① 教育委員会の設置、委員及び会議に関すること
② 就学相談委員会に関すること
③ 育英資金に関すること
④ 学力向上に関すること
⑤ 学校施設等の整備に関すること
⑥ 社会教育、公民館に関すること
⑦ 社会体育に関すること
⑧ 文化財等に関すること
⑨ 保育園に関すること
⑩ 栄村学童クラブに関すること
⑪ 自然保護（希少動植物調査）に関すること

点検項目①　教育委員会の設置、委員及び会議に関すること

事務概要　・教育委員会の会議は、毎月１回の定例会を開催（詳細は８頁からを参考）
・【「みんなで学校を創ろう！」住民懇談会】
「みんなで学校を創ろう！」㉓～㉔回の住民懇談会開催
・先進地学校視察２回実施（5/29、6/25）教委事務局及び教員で視察

評　価　○教育委員会の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に規定するもののほか、栄村教育委員会会議規則の定めるところにより実施した。
会議では、各学校の状況、児童生徒の様子や国・県、近隣市町村の教育行政の動向など最新の教育情報の把握、討議をすることにより、栄村教育を推進した。
今後も、教育の政治的中立性・継続性・安定性を確保しつつ、将来的な教育体制や幼児教育の充実に向け、協議を進める事としたい。

○令和４年度より学校のあり方を住民懇談会で進める、「みんなで学校を創ろう！」を開催してきた。令和７年度は第23回と第24回を開催した。第23回では信州大学教職支援センター准教授の荒井 英治郎 先生を講師にお招きし、ワークショップを開催した。現代の教育を取り巻く環境や、栄村が今後目指すべき教育の方向性について、参加者同士で深く話し合うことができた。第24回では、新しい学校の校章について考え、参加者の投票を経て決定することができた。

○先進地学校視察では、小中一貫校まつのやま学園と南アルプスこどもの村小学校・中学校を見学し、様々な学びの形について知ることができた。

点検項目②　就学相談委員会に関すること

事務概要　・就学対象児童及び在校児童生徒の適切な学びの場の判断を行う。
・就学相談委員会は 10 人の委員の構成で 2 回、就学相談委員会調査員会（サテライト会）は 7 人の構成で 4 回、合計 6 回の会議を開催した。

評　　価　○就学相談委員会は、障がいのある幼児、児童、生徒一人一人の教育的ニーズに応じた最もふさわしい教育のあり方を総合的に判断して「学びの場」について検討し、教育支援の方向を決める組織としての重要性は高い。各個の学びの実情は多種多様であり、極めてデリケートで複雑である。インクルーシブ教育の理念を大切にし、教育・医療・保健・福祉等関係機関が連携したサテライト会の運営を進められた。

点検項目③　育英資金に関すること

事務概要　・令和 7 年度末基金総額　39,816,815 円
・令和 7 年度末貸付総額　6,702,000 円
・令和 7 年度中の貸付額　540,000 円

評　　価　○貸付状況は、令和 7 年度の貸付者は 2 名で、内訳は大学生 1 名、高校生 1 名となっている。また、7 年度中の償還者は 13 名であった。
基金全体の運営状況は、良好な状況を保っている。近年、新規申込者も 1 名程度で推移していることから、基金の余剰金の活用についての研究が委員会で進められた。

点検項目④　学力向上に関すること

事務概要　・学力向上委員会の設置（小中の教員で編成）
・民間の学力検査実施（年 2 回　ベネッセコーポレーション）
・夏期研修会、授業研究会の開催
・武蔵村山市子ども交流事業
・GIGA 端末の更新

評　　価　○本村では学力向上委員会を平成 11 年度から組織化し、子どもたちの学力向上に取り組んでいる。令和元年度から民間会社の学力検査を年 2 回実施し、理解の度合いが年度別に細かく分析され、個々における学びの支援について検討を進めた。個々への対応として、ICT 機器を活用した個別最適な学びや自由進度学習により進められた。教員も村の枠を超えた授業研究へ積極的に取組み、小中学校の協力・連携を深める検討会議を開催し、個別最適化の学習を推進することができた。

○小学 6 年生の児童を対象に、姉妹都市である武蔵村山市の学校と交流事業を行った。3 日間学校に入り授業や給食、クラブ活動などの学校生活を体験した。普段経験のできない大人数での授業体験等を通して、考え方や学び方の違いを学び、知見を広め、以後の学習に生かすことができた。

○国の GIGA スクール構想第２期のもと､小中学生が使用している GIGA 端末(iPad)を更新した。処理速度やバッテリー性能が向上した端末を使用することにより、ICT を活用した授業を推進することができた。ガラスフィルムやキーボード付きカバーなど周辺機器も含めて整備することで、破損等のリスクを未然に防ぎ、長期的かつ安全に使用できる運用体制を整えることができた。

点検項目⑤　学校施設等の整備に関すること

事務概要　・栄村立さかえ小中学校の建設

評　　価　○「さかえ小中学校」の開校に向け、4 月から国庫補助金の交付申請や入札準備を進め、令和 7 年 7 月に施工者を決定し着工した。

着工後は、発注者、設計者、施工者などの関係者による定例会を毎週開催した。工事の進捗や施工方法を随時確認し合うことで、適正かつ安全に工事を進めることができた。

また、本村特有の冬期の降雪による施工制限への対策として、綿密なスケジュールのもと計画的に現場の除雪作業を実施し、工期内の完成に向けて工事を進めることができた。

点検項目⑥　社会教育、公民館に関すること

事務概要　・栄村歴史文化館兼栄村公民館の管理運営
・総合文化祭、各種講座の開催
・文化会館、図書室の管理運営

評　　価　○「栄村歴史文化館こらっせ」は令和 7 年度来館者数延べ 1,758 名となった。今後は村民が気軽に利用できるように環境整備を進めていきたい。

○村民の文化活動の発表の場である栄村総合文化祭は、10 月 25 日を映画会、10 月 26 日を特別企画として太鼓演奏、みんなのステージと 2 日間に分けて開催した。多くの村民が参加し、村民の多様な文化活動の成果を知ってもらうことができた。また文化月間として、作品を約一か月にわたり展示し、多くの観覧者が訪れ好評だった。

○公民館講座は、こらっせを拠点に食文化など人気の高い講座を中心に開催した。栄村文化会館ホールの音響映像設備改修にあわせて映画会も開催し、住民の交流を促進することができた。

○図書事業においては、平成 29 年度に策定した「栄村子ども読書活動推進計画」に基づき、ブックスタート事業や保育園での読み聞かせを行った。
これまで実施してきた冬期間の移動図書のほか、新たにデジとしょ信州の普及促進を行い、読書環境の整備を進めることができた。

点検項目⑦　社会体育に関すること

事務概要
・各種スポーツ大会、スポーツ教室の開催
・さかえスポーツクラブ（8 団体）への支援
・農村広場他社会体育施設の維持管理

評　　価
○栄村駅伝大会は東部地区（極野～志久見）で開催した。20 チームもの出場となり、だれもが気軽に参加できる大会の開催となった。
○第 54 回栄村スキー大会へ 52 名の参加があった。武蔵村山市からも選手として出場していただき、姉妹都市との交流も図られた。
○さかえスポーツクラブの事務局移管を行い、クラブ主体の運営により柔軟で円滑なスポーツ活動を展開する体制を整えることができた。
○社会体育施設や農村広場などの適正な維持管理に努めている。今後は利用方法などの検討も進めたい。

点検項目⑧　文化財等に関すること

事務概要
・文化財指定とその保全、秋山郷保存民家の管理運営
・地域史料保全有志の会と協力した民具、古文書等の保存活用
・苗場山麓ジオパーク、栄村自然植物園の管理運営

評　　価
○秋山郷保存民家は、雪害による屋根部分の破損個所の修理を行い、9 月から開館することとなった。損傷個所が多く継続的な修理が必要となっている。
○地域史料保全有志の会による「第 5 回栄村の文化と自然報告会」を後援した。こらっせを拠点に活動を行っており、長野県地域発元気づくり支援金の補助を受けて、村外から栄村に興味のある学生を中心に募集し、多くの参加が得られた。地域行事や自然、文化などのフィールド活動も積極的に取り組んでいる。
○令和 7 年度の苗場山麓ジオパークの取組では苗場山登山や LNT ワークショップなどのほか、長野県立美術館でジオパークの十周年企画展を開催した。
○栄村自然植物園は、平成 19 年度から石沢進先生を中心にして村内に自生している多様な植物を 1 箇所に集め観察できるよう整備を行ってきた。石沢先生が平成 30 年に急逝された後は、朱雁先生が事業意思を引継ぎ、ボランティア団体と協力し植物の育成管理を進めた。今後は、維持管理の面から施設改修等を進めていくこととなった。

点検項目⑨　保育園に関すること

業務概要　・北信保育園の管理運営

・園児数　4/1 現在　20 名　　3 月末 24 名

5 歳児 7 名、4 歳児 2 名、3 歳児 7 名、2 歳児 5 名・1 歳児 2 名・0 歳児 1 名

途中入所児は 4 名（3 歳未満児 3 名・5 歳児 1 名）

途中退所は 0 名

・職員数　園長 1 名、主任 1 名、保育士 4 名、栄養士 1 名、会計年度職員 2 名（保育士 1 名・調理技師 1 名）計 9 名（うち保育士 1 名 11 月より産休）

・保育日数 287 日を運営した。

・一時預かり利用　18 日　利用者 3 名、延長保育利用園児数　延べ 18 名

評　　価　○やまほいく認定後、地域の方と一緒に野菜くずを使った土づくり、牛糞のたい肥を使った畑づくりを行った。地域の方、保護者と畑の草取り、野菜の収穫など、土づくりから野菜の収穫まで自然体験に取り組むことができ、収穫した野菜を使って料理体験も行い食育にもつなげられた。身近な林の中で自然に触れながら、植物、昆虫の学習も合わせて進められた。

○地場産物の食材を給食に使用する促進を図るため、農家より直接野菜を購入することにより、新鮮な食材のうまみなどを園児に提供することができ保護者の評判も良かった。農家の畑に行って話を聞いたり、米農家との交流会として田植え見学もできた。その後園庭での米作り体験やわらでしめ縄づくりも行うなどよい経験となった。

○年長児のセカンドステップ、以上児の運動プログラムを外部講師に依頼し、「相手や自分の気持ちを考える」事や、様々な器具や遊具を使って体を使う楽しさを味わうことができた。外部の人と触れ合うことも子どもにとってよい時間になった。

○高齢者センター、宅幼老所きぼうの利用者と園児の交流をもてた。

点検項目⑩　栄村学童クラブに関すること

業務概要　・月毎の利用希望の取りまとめ、指導員シフトの作成、利用料の請求、保護者・学校との連絡調整、物品等の手配

・指導員は利用児童状況により 2 名から 3 名体制とし児童の安全配慮を実施

・令和 7 年度年間開所日数　238 日

・令和 7 年度登録児童数　37 人（1 年生～6 年生）

・令和 7 年度のべ利用児童数　2,427 人　一日平均利用児童　10 人

・開設場所　栄中学校　体育館・学童クラブ室・ランチルーム・グラウンド

・開所時間　学校のある日　　下校時～18 時まで

学校が休みの日　　8 時～18 時まで

（但し、土日、祝日とお盆休み 8/13～16、年末年始 12/29～1/3 は閉所）

評　　価　○下校後、保護者が就労のため不在になる児童に適切な遊びと生活の場を提供し、健全な育成が図れ、安全に運営することができた。
○オクレンジャーを活用し、月１回ニュースレター発行やイベント等の情報を提供し、保護者へ学童クラブの様子を周知することができた。
○年１回の避難及び消火訓練の実施に加え、冬期間の避難訓練を行い子ども達と安全に避難する方法を確認することができた。
○定期的に指導員会を開催し、クラブの運営や児童について共有し話しあうことができた。

点検項目⑪　自然保護(希少動植物調査)に関すること
業務概要　・村内における希少動植物の調査
・自然保護にかかわる保全／啓発活動

評　　価　○希少動植物調査(令和５年４月 11 日から令和６年３月 31 日)
令和３年度より商工観光課から所管換えとなった希少動植物調査は調査員２名を継続雇用し、「栄村のチョウ・トンボハンドブック」を発刊した。
○村内各地に自然保護のための啓発看板を設置し動植物の生息環境の保護を推進することができた。

令和 7 年度栄村教育委員会の主な会議状況

会議名等	開催期日	主な会議の内容等
4 月定例教育委員会	4 月 22 日	・栄村社会教育委員の任命について ・学校訪問日程について ・令和 7 年度関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会（長野大会）への参加について ・令和 7 年度教育委員会及び保・学校関係体制
5 月定例教育委員会	5 月 30 日	・県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整 ・令和 7 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定 ・令和 7 年度栄村新着任教職員研修会の実施について ・秋山分校の今後について
6 月定例教育委員会	6 月 30 日	・秋山分校に関するアンケート結果について ・「高校再編に関する基準等」の修正案に対する意見徴収 ・学童クラブの利用に関する基準等について ・さかえ小中学校に関する保護者との懇談会結果 ・集落公民館交流会の実施結果について
7 月定例教育委員会	7 月 30 日	・栄村教育委員会活動の点検・評価報告書（案）について ・秋山分校の今後に関するアンケート結果による要望書を受けての回答（案）について ・令和 7 年度公立学校施設整備費国庫補助事業 さかえ小中学校増改修工事の入札結果について ・二十歳の集いの開催について ・ハープコンサートの開催について
8 月定例教育委員会	8 月 27 日	・栄村教育委員会活動の点検・評価報告書について ・「みんなで学校をつくろう」㉔の開催について ・苗場山チャレンジ登山について ・第 47 回栄村総合文化祭について
9 月定例教育委員会	9 月 25 日	・さかえ小中学校校章デザイン原案の決定について ・武蔵村山市との子どもの交流事業について ・第 47 回栄村総合文化祭の開催について ・eat go ウォーキングの開催について

会議名等	開催期日	主な会議の内容等
10 月定例教育委員会	10 月 21 日	・さかえ小中学校 校章デザインについて ・令和 7 年度第 1 回総合教育会議の開催について ・令和 7 年度 教育委員 保育園・学校訪問について ・武蔵村山市駅伝競走大会への参加について ・公民館講座の開催について
11 月定例教育委員会	11 月 26 日	・12 月教育委員会関係補正予算について ・武蔵村山市駅伝大会について ・苗場山麓ジオパーク 10 周年記念 県立美術館企画展の開催について
12 月定例教育委員会	12 月 17 日	・栄村就学相談委員会判断報告書に基づく児童就学先の決定について ・12 月定例議会の結果について ・教育委員の再任について ・年末年始休業における緊急連絡先について ・東京都神津島村「スキー教室」による来村について ・映画上映会の開催について
1 月定例教育委員会	1 月 21 日	・教育委員会関係例規の改正等について ・令和 8 年度市町村教育委員会連合会総会及び研修会の日程について ・令和 8 年度入園入学予定者について ・教職員の時間外勤務時間の状況について ・多摩島しょ こども雪国体験事業について ・公民館講座の開催について

会議名等	開催期日	主な会議の内容等
2月定例教育委員会	2月24日	・栄村スポーツ推進委員の選任について ・栄村教育委員の辞任について ・令和8年度　栄村教育施政方針について ・栄村立小学校・中学校閉校式・さかえ小中学校開校式の日程及び来賓について ・教育長職務代理者の選任について ・3月定例議会提出議案について ・「みんなで保育園について話そっ！＃1」の開催について ・令和8年度苗場山麓ジオパークに係る事業計画について ・第5回栄村の文化と自然報告会の開催について ・公民館講座の開催について
3月定例教育委員会	3月26日	・栄村社会教育委員の任命について ・教育長職務代理者の指名について ・栄村立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について ・教育委員の新任について ・令和8年度教職員及び教育委員会事務局職員の人事異動について ・令和8年度　保・小中学校児童生徒数について ・令和8年度　当初予算について